

みちをつなげ 人・モノ・文化を紡ぎ 未来を拓く 新しいインターチェンジ

# (仮称)屋代スマートインターチェンジだより

Vol.6

市道一重山2号線  
(スマートICアクセス道路)

## ◎はじめに

現在、(仮称)屋代スマートインターチェンジ(以下:スマートIC)事業は、関係する皆様のご協力により、必要用地の取得に一定の目途が立つとともに、今月からは地区内の埋蔵文化財発掘調査に入りました。令和8年度からはよいよ本体工事の着手に進んでいく予定です。引き続き、千曲市とNEXCO東日本が相互に協力しながら、鋭意事業に取り組んでまいります。



今号では、令和7年11月～12月にかけて実施した、用地説明会・用地個別相談会・用地一括契約会等の用地取得に向けた取り組みを中心に、一歩ずつ進むスマートICの「今」をお伝えします。

## ◎該当土地所有者に向けた用地説明会を開催しました。

令和7年11月19日、該当する土地所有者の皆様を対象とした用地説明会を昼・夜の2部制で開催しました。用地取得の基本的事項である、土地単価の算出方法や標準地の評価について市担当者から説明を行い、提示した内容に対し皆様よりご同意を頂くことが出来ました。



当日配布資料

(仮称)屋代スマートインターチェンジ  
土地単価に関する説明資料

日時:令和7年11月19日(水)  
一部:15時～ 二部:19時～  
場所:屋代公民館 二階 講堂

← ↓ 当日配布資料(一部抜粋)

土地単価算出までの手順

- ①用途的地域の区分 用途ごとに地域のまわりを区分する
- ②標準地の選定 ①で区分した用途の地域の中で土地面積や形状が概ね平均的な箇所(=標準地)を選定
- ③標準地の評価 ①で区分した用途の地域と同じような利用形態にある別の地域の取引価格から②で選定した標準地の価格を算定
- ④団地の認定 個別に比較を行う土地の範囲を決定する
- ⑤個別要因の比較 標準地と評価対象地の個別要因を比較し、格差率を算出する
- ⑥希土地の評価 ③で算出した標準地の価格に⑤で算出した格差率を乗じて、各団地の価格を算定する

←R7/11/19 用地説明会実施状況  
(屋代公民館にて昼・夜2部開催)

## ◎希望者に対し用地の個別相談会を開催しました。

令和7年12月1日・2日、該当希望者に対し、用地に関わる疑問点や不安な部分を解消する目的で、個別対応型の相談会を開催しました。

R7/12/1・2個別相談会実施状況→  
(屋代公民館にて昼夜通じて開催)  
※一部写真を加工しています



## ◎用地の一括契約会を開催しました。

令和7年12月12日・13日、該当する土地所有者の皆様を対象に、用地取得における一括契約会を開催しました。

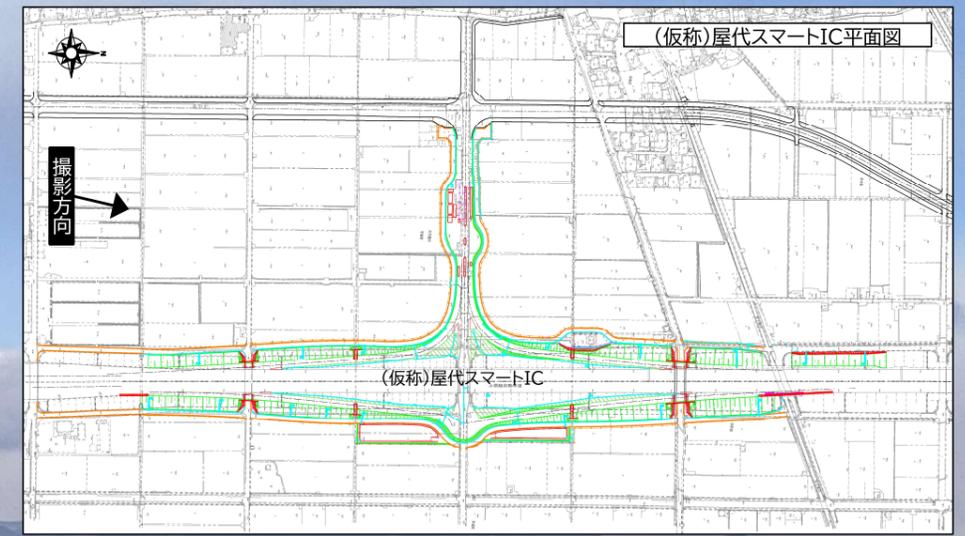
多くの方のご出席を頂き、円滑な契約締結に至ることが出来ました。この場を借りて改めて皆様にご挨拶申し上げます。

引き続き全ての用地取得に向け、個別対応等取り組んでまいります。(屋代公民館にて昼夜通じて開催)



(次ページへ)

森將軍塚古墳から望む  
(仮称)屋代スマートインターチェンジ周辺の  
『今』をお伝えします



(仮称)屋代スマートIC及び関連事業  
必要用地箇所(工作物補償含む)  
契約締結率:約92%(R8.1時点)



(次ページ)

写真:森將軍塚古墳より北を望む  
(撮影:R8.2)

## ◎スマートICの今後（令和8年度）の予定（状況に応じ前後することがあります）

関係各位のご理解ご協力のもと、当該事業に必要な用地取得に一定の目途が立ったことから、下表の通り来年度(令和8年度)秋頃から本體工事着手ができるよう準備を進めます。また、令和8年2月より着手した埋蔵文化財発掘調査は来年度も継続して進めていきます。

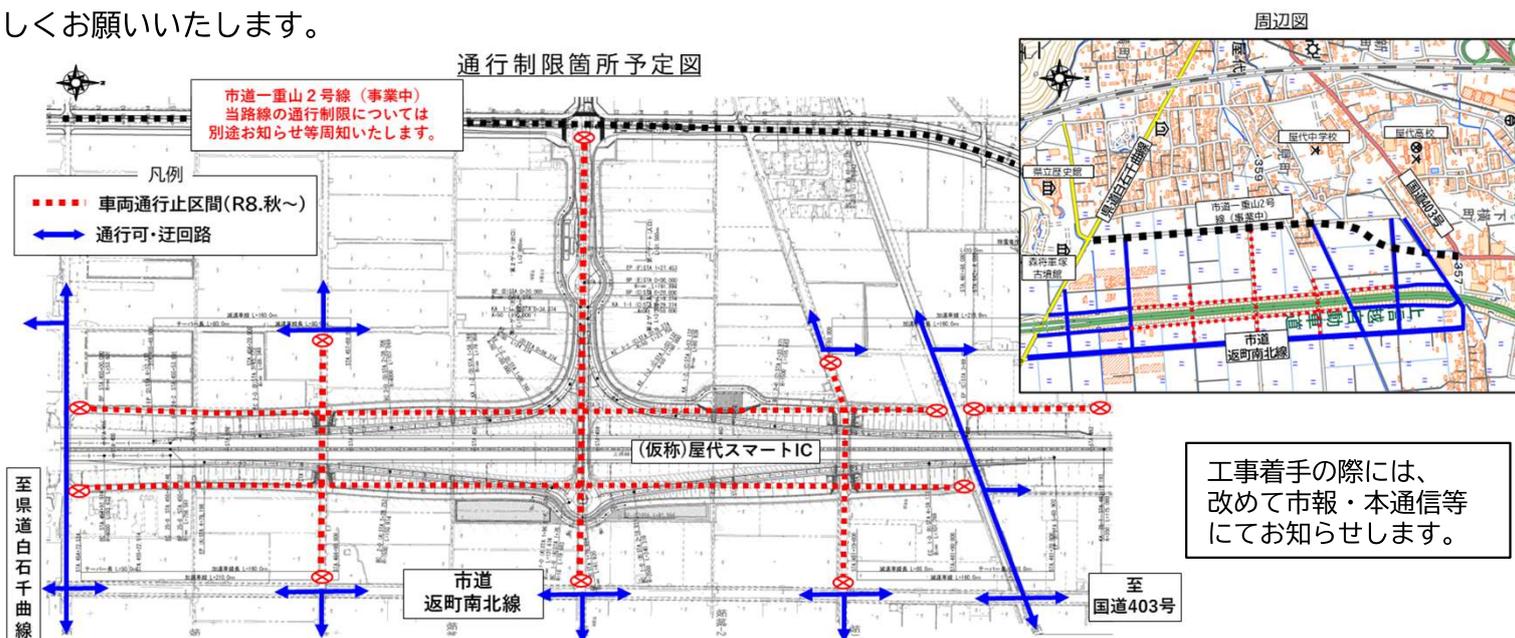
実施年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度以降
実施主体					
NEXCO 東日本	測量・設計(※)	幅杭設置(R7.7打設完了)	工事入札 公告・契約		
千曲市	事業説明会 (R6.8・R6.11)  用地測量 (土地境界の確認：R6.12)  設計説明会 (R7.3)	用地測量(幅杭・境界確認：R7.8)  物件補償調査・土地評価(完了)  事業説明会(R7.10)  用地説明会(R7.11)⇒今号の内容  個別相談会(R7.12)⇒今号の内容  用地取得一括契約会(R7.12) ⇒今号の内容	工事 (R8秋着手予定)		
		埋蔵文化財発掘調査 (R8.2着手)			

## ◎工事着手による周辺市道の通行止めについて（お願い）

上記着手(令和8年秋以降)に際し、期間中は安全性の観点より周辺市道(下図参照)への車両通行を終日制限し工事を進めていきたいと考えております。(沿線の耕作地に対しては、仮設道等整備し一定の条件のもと出入りができるよう対応予定。)

迂回については、県道白石千曲線、市道返町南北線、周辺市道等の利用をお願いいたします。(中・高生の徒歩・自転車等通学についても、安全確保のため迂回頂きますようお願いいたします。)

ご不便をお掛け致しますが、一日も早い供用を目指し鋭意取り組んでまいりますので、ご理解ご協力のほど宜しくお願いいたします。



今後も、本通信をはじめ、市報・ホームページ等で発信してまいりますので、引き続き本事業へのご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。



～この通信に関するご質問・ご意見は～  
 担当：建設部 道路河川課 SIC・一重山線整備係  
 課長：北村 係長：斉木 係員：岡田、高木、丸田、高村  
 Email: sic1-seibi@city.chikuma.lg.jp  
 Tel: 026-273-1111(内線3205・3206)